

# 授業概要 (シラバス) 入力について

2008年1月15日 EDB Working Group 三好 康夫

シラバスの入力作業は、シラバス入力ページから行います。ここから授業概要を入力(修正)する授業を選択し、編集を行います。

シラバス入力ページのアドレス <http://studio.db.tokushima-u.ac.jp/>

徳島大学トップページからは、次のように辿ることができます。

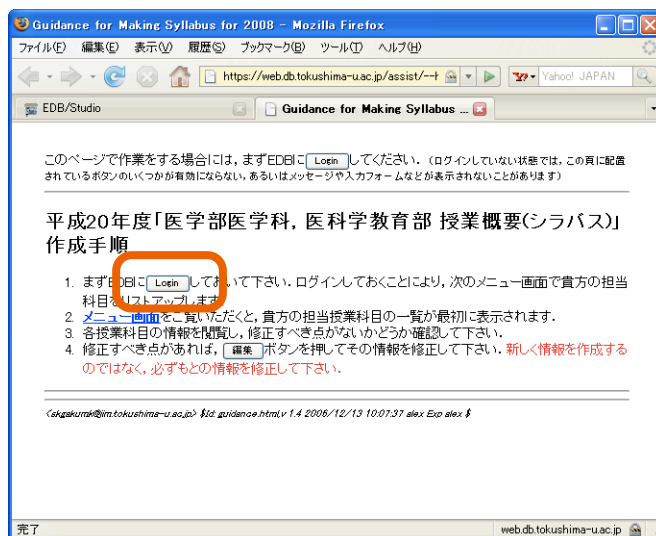
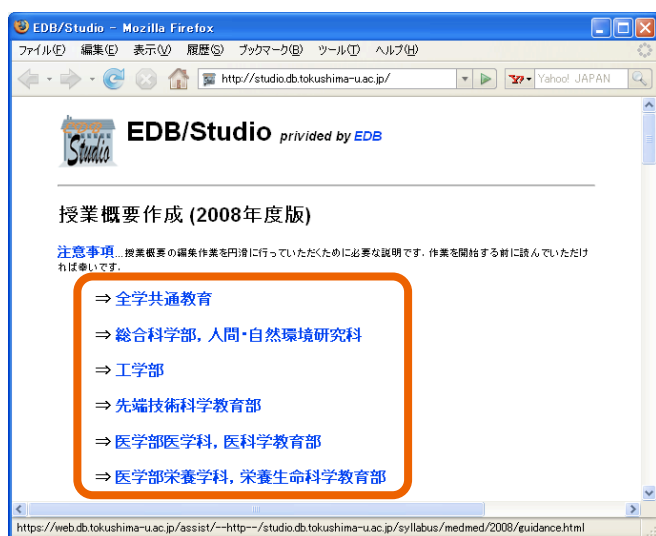


- (1) 訪問者別メニューから「企業・研究者の皆さまへ」をクリックします。
- (2) 「研究者情報を知りたい」項目の「教育研究者情報データベース (EDB)」をクリックします。



- (3) Hot Topics の「平成20年度 授業概要 作成」をクリックします。
- (4) このページが、シラバス入力のための入り口のページになります。

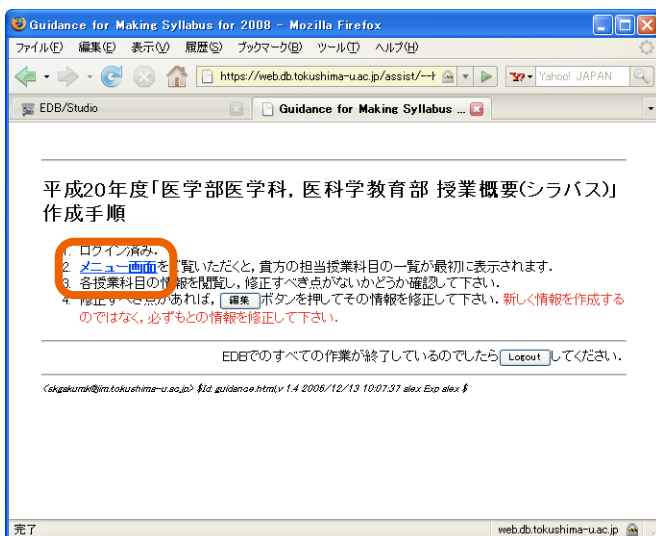
## シラバス入力の流れ <1> （～シラバス編集画面を開くまで）



(1) メニューから、編集するシラバスの学部、教育部等を選択します。

実際にシラバスの編集作業を行う前に「注意事項」のページに目を通していただければ幸いです。

(2) 作成手順が表示されます。EDBにログインしていない場合は、上のように表示されますので「Login」ボタンを押して、EDBにログインしておきます。



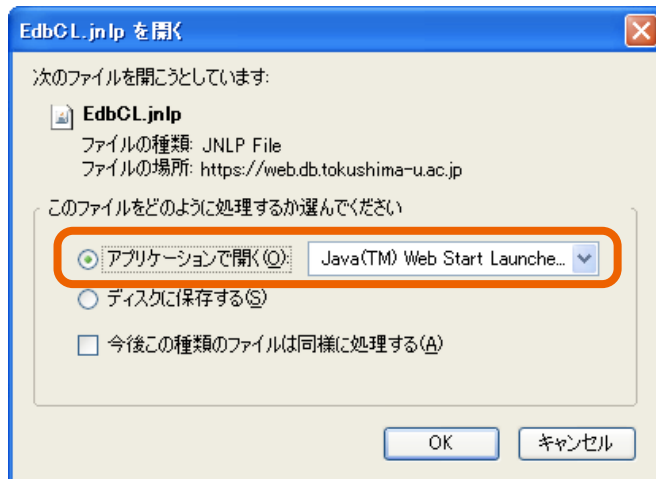
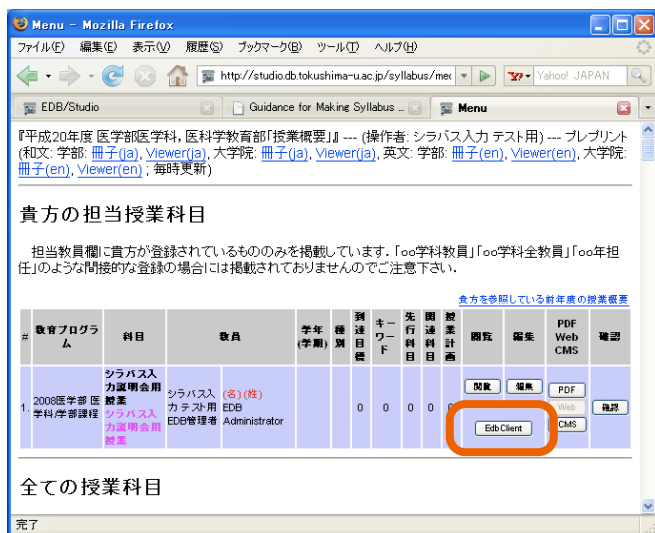
(3) ログインできていると手順1が「ログイン済み」と表示されます。手順2の「メニュー画面」をクリックします。



(4) 「貴方の担当授業科目」と「全ての授業科目」のリストが表示されます。

「貴方の担当授業科目」には、ログインしたユーザが担当教員として登録されている授業科目だけが表示されます。

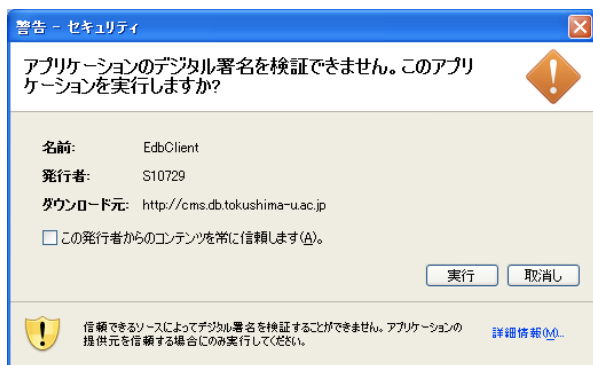
「全ての授業科目」は学科や専攻等を選択すると、選択したコースで開講する全授業科目が表示されます。



(5) 編集したい授業を決め、その授業の行にある「EdbClient」ボタンをクリックします。(※ここでは EdbClient を使った編集方法を説明しています。Webブラウザ上で編集する場合は「編集」ボタンで編集できます。)

(6) 「EdbCL.jnlp」ファイルがダウンロードされますので、Java Web Start アプリケーションで開きます。Webブラウザが異なると上と若干表示が異なりますが、とにかくファイルを開きます。上のような確認メッセージが表示されなかった場合は、ダウンロードされたファイルをダブルクリックして開いてください。

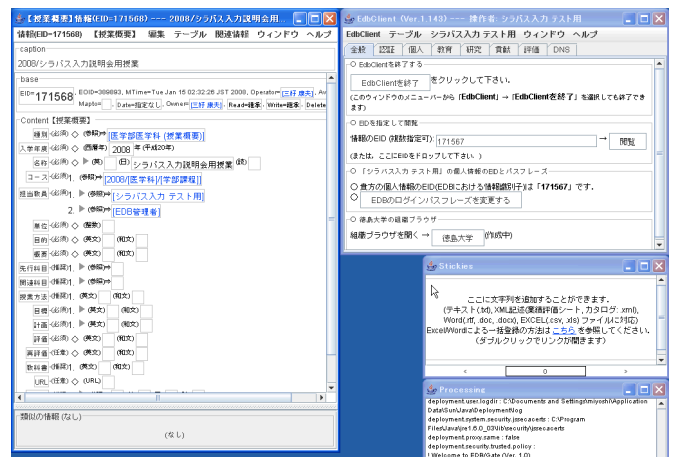
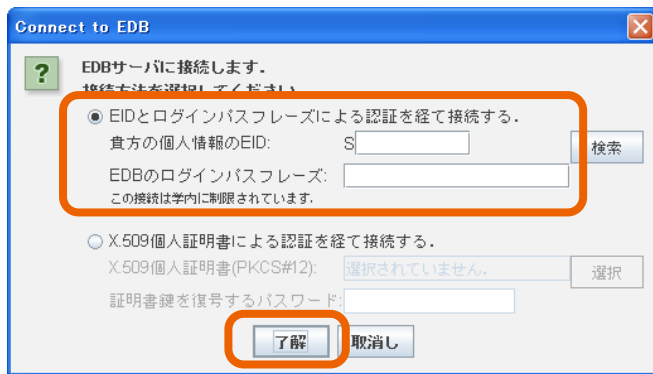
(7) Javaがインストールされている環境であればJavaが起動し、EdbClientが開きます。  
(Javaが起動しない場合は、「http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/dist/EDB/Java/EdbClient/doc/index.html」を参考にしてJavaをインストールするか、(5)のメニューから「編集」ボタンを押してWebブラウザ上で編集作業を行ってください。)



(8) EdbClientが開く際、左図のような警告が表示されます。これは、信頼された認証機関が発行したものではありません。右下の「詳細情報」をクリックすると出てくる詳細情報ウィンドウの「証明書の詳細」をクリックしてください。証明書の詳細で、SHA1フィンガープリントが次の内容であることを確認します。

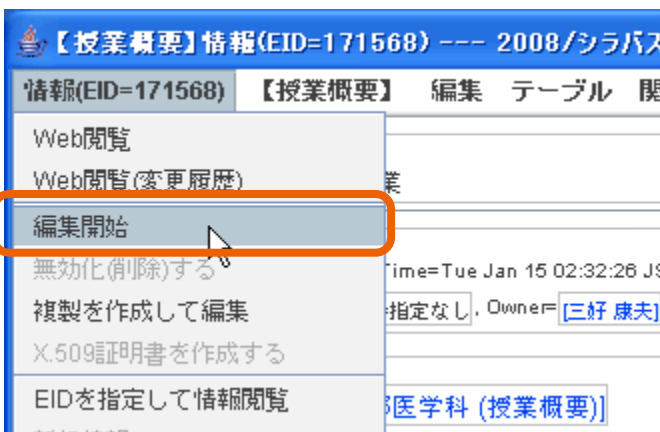
0F:AE:73:00:47:76:9F:1C:E7:F7:59:95:DE:F9:E4:FB:CB:34:62

確認できたら、開いた詳細情報のウィンドウを閉じ、「この発行者からのコンテンツを常に信頼します」にチェックを入れて「実行」ボタンを押します。(チェックを入れることにより、次回からはこの警告が表示されなくなります。)



(9) EdbClientが起動すると、接続のための認証画面が表示されます。学内からの利用であれば、先程と同じパスフレーズを使って接続できます。EIDとパスフレーズを入力し、「了解」ボタンを押して接続します。

(10) ログインに成功すると、いくつかウィンドウが開き、選択した授業科目の【授業概要】の情報が表示されます。



(11) 【授業概要】ウィンドウの「情報」メニュー (一番左) から、「編集開始」を選択すると、編集モードに切り替わります。編集モードに切り替わったことは背景色が「緑」に変わることを確認できます。

## よくある質問 (1)

EDBに接続すると警告が表示されるが？

EDBへのログイン時の通信は暗号化されています。その際、サーバの真正性を確認するため、Webブラウザはサーバの証明書をチェックします。しかし、EDBのサーバ証明書は信頼された認証機関が発行したものではないために警告が発せられます。この場合、サーバ証明書の真偽を利用者自身が確認する必要があります。EDBを騙る偽物のEDBサーバが今現在に存在するとは思えませんが、念のため確認方法を説明しておきます。

証明書にはそれぞれに拇印 (フィンガープリント) と呼ばれる文字列があります。これを比較して一致すれば正しい証明書であると言えます。EDBサーバ (web.db.tokushima-u.ac.jp) のサーバ証明書の拇印は次の通りです。

SHA1アルゴリズム 40:BC:14:2E:CA:D7:5E:A8:C0:39:45:93:98:5C:AF:6A:6A:4B:82:40

(ブラウザによっては、小文字で表示されたり、区切り文字が空白文字の場合があります。)

インターネットエクスプローラでは、「証明書を表示」ボタンをクリックして開いた証明書ウィンドウの「詳細」タブを選び、リストを最下部までスクロールすると拇印を確認することができます。

EDBにログインするとポップアップがブロックされたというメッセージが表示されるが？

EDBではポップアップウィンドウ (小さく開く別ウィンドウ) 上に重要なメッセージを表示することがありますので、EDBのサイトはポップアップウィンドウを許可するよう設定しておくことをおすすめします。インターネットエクスプローラでは、「ツール」メニューの「ポップアップブロック」→「ポップアップブロックの設定」から設定できます。許可するサイトに「https://web.db.tokushima-u.ac.jp/」を追加してください。

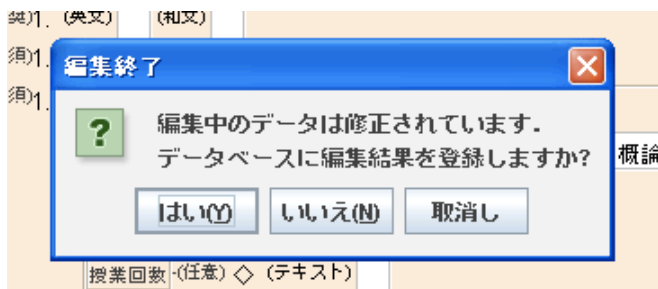


## シラバス入力の流れ <2> (～修正内容の保存, 編集作業の終了まで)

各編集項目については「注意事項」のページ「<http://studio.db.tokushima-u.ac.jp/syllabus/notice.html>」に記載されています。

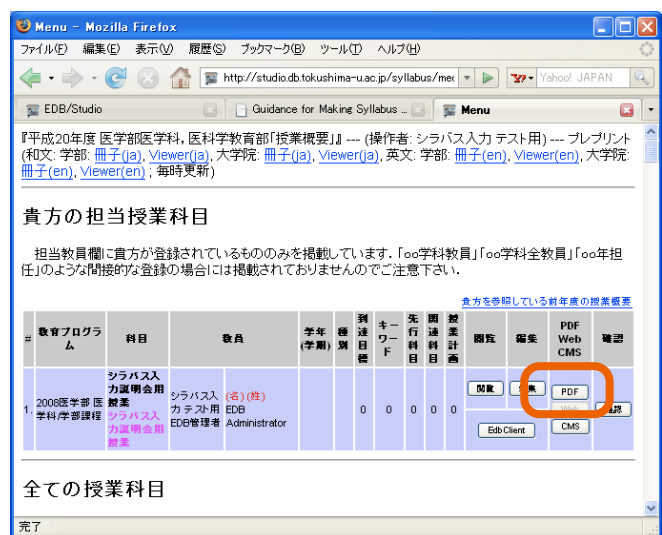
- (1) 編集画面では「(参照)⇒」以外の入力項目には文字を入力できます。右向きの塗りつぶされた三角形は、クリックすると項目が開き、さらに詳細な情報を編集できます。
- (2) 複数の情報を登録できる項目 (情報に連番が振られているものは、情報を入力すると自動的に次の入力欄が追加されますが、追加されていない場合は、項目名をクリックすると追加されます。余分に項目が追加されていても、内容を入力しなければ登録には反映されません。

- (3) 情報を編集すると、背景の色が緑から赤っぽく変わります。
- (4) 編集内容の登録は、編集終了時に行われます。編集の終了は「情報」メニューから「編集終了」を選びます。



(5) 編集終了すると、情報に何か変更点があった場合は修正内容をEDBに登録するか確認するダイアログメッセージが表示されます。

- ・保存して登録する場合は「はい」をクリックします。登録が完了すると、授業関係者(授業担当教員、教務委員等)宛に修正通知メールが送られます。
- ・登録せず、内容を破棄する場合は「いいえ」をクリックします。
- ・編集終了を取り消し、編集画面に戻る場合は「取消し」をクリックします。



(6) 修正した内容がどのように反映されるかを確認するには、授業科目リストが表示されているメニューページにて「PDF」ボタンをクリックしてください。プレプリントは冊子全体のイメージを見ることができますが、最新の修正内容は反映されません。1時間おきに更新されますので、修正後1時間経ってから確認してください。



(7) 編集内容を確認し、シラバス入力(修正)が完了しましたら、リストの右端の「確認」ボタンをクリックしてください。行の背景色が変わり、教務委員や担当事務が入力完了を確認します。シラバス修正の必要がなかった場合も確認ボタンだけ押しておいてください。誤って確認ボタンを押してしまった場合等、確認を取り消したい場合はもう一度ボタン(「取消」ボタンに表記が変わっています)をクリックすると取り消されます。このボタンは、教務委員や担当事務がどの科目のシラバス入力が終わっているのかを把握するために設置された簡易な機能です。誰でもボタンを押すことができますが、自分と関係ない科目の確認ボタンは決して押さないようお願いいたします。

## よくある質問 (2)

授業担当者だが、シラバスを編集しようとする「編集権限がありません」と言われてしまう

EDB上で正しい授業担当者が登録されていない可能性があります。教務委員や担当事務へ連絡してください。授業担当者が「〇〇学科教員」等のように登録されている場合で、貴方がそれに該当する場合は、「〇〇学科教員」という情報に貴方を追加するよう担当事務を通じてEDB-WGへご連絡ください。

担当授業のシラバスを入力しようと思ったら、メニューページのリストに該当する授業が見つからない

「全ての授業科目」から授業をよくお探しください。どうしても見つからない場合は、決してEDB上で新規情報を作成するのではなく教務委員や担当事務へご連絡ください。新規のシラバス情報の作成は担当事務より依頼を受けてEDB-WGにて行います。(新規作成等のご依頼は担当事務を通じてEDB-WGへご連絡ください。)

開講しない授業の情報は消してしまいたいのだが？

今年度は開講しなくてもカリキュラム上に存在するのであれば、最低限の情報だけでも構いませんので情報は残しておいてください。(例えば、備考欄に「平成20年度は開講せず」といった但し書きだけ記入する等)

カリキュラム上からも無くなった授業の情報を削除したい場合は、教務委員や担当事務を通じてEDB-WGへご連絡ください。担当事務から依頼がありましたらEDB-WGにて削除いたします。決して勝手に削除しようとししないでください。

情報を修正してもメールが届かない

修正メール通知は、EDB上の【個人】情報に登録されているメールアドレス宛に送られます。貴方の【個人】情報に登録されているメールアドレスが正しいものかどうか確認してください。

情報を修正していないのにメールが届く

貴方自身が情報を修正しなくても、別の授業担当者や教務委員、担当事務等がシラバス情報を修正した場合、貴方に関連する情報が修正された場合はEDBから修正通知のメールが送られます。(シラバスの情報に限らず、EDBの情報に修正があった場合は、関係者に全てメール通知されます。) メールに記載されたURLを参考に、修正された内容をご確認ください。

PDFを確認すると、入力しなかった項目名が赤く表示されている

登録が必須な項目、もしくは登録が推奨される項目は、確認用のPDFでは入力漏れを防ぐために色を付けて気づきやすいようにしています。よほどの理由がない限り、登録をお願いいたします。実際の冊子や完成版のPDF等では、これらは表示されません。

CMSというボタンがあるが、これは何か？

CMSは、授業で配布する講義資料等を置いておくことができるコンテンツサーバです。EDB上にシラバスを作成すると、各授業毎にコンテンツスペースが用意されます。「CMS」ボタンをクリックすると表示されるページは、そのコンテンツスペースのページです。講義資料を公開するだけでなく、授業担当教員しかアクセスできないスペースを利用して、複数の担当教員間で情報共有サーバとして使用することも可能です。ただし、e-Learningシステムのような学生一人一人の閲覧履歴を調べたり、レポート提出を受け付けたりするような機能はありません。

詳細な利用方法は、<http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/doc/howto.html>をご覧ください。

キーワード、先行科目、関連科目を登録するとどうなるのか？

EDB-WGでは、科目間の関連をグラフにより可視化できるシラバスビューア (Learning Path Finder, 以下LPF) を開発し、提供しています。LPFでは、キーワードから簡単に目的の授業を探せ、先行科目や関連科目の情報から学習順序の付いた科目紹介を行います。LPFは学生の学習計画や履修登録の参考に利用されています。選択科目が少なく、履修に選択の余地が少ない医歯薬学関係のカリキュラムでは、学習計画や履修登録の参考に利用されることはあまりないかもしれませんが、カリキュラムの内容を科目表ではない新しい形で表現することができ、受験生等に対しても良いアピールになるのではと思います。ぜひ登録にご協力ください。